

令和7年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和8年度～令和10年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	道路新設改良事業		
政策	人と自然が共存し安心して暮らせるまち/生活基盤が充実したまちづくり	担当課	建設課
施策①	安全で快適な生活環境の整備	電話番号	0193-22-8430
施策②	道路の整備・道路施設の維持管理	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト	防災まちづくりの推進	新規・継続	継続
5つの柱	防災対策の充実	補助・単独	補助
事業期間	昭和27年度～令和10年度		
事業の概要			
市民生活における利便性及び安全性の向上を図ることを目的に、狭隘道路の拡幅や歩道整備による安全確保、老朽化するトンネル等の補修、補強等の市道改良事業を実施するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	市道において、狭隘箇所、老朽化等で劣化したトンネルなどがあり、市民の通行に支障をきたしている。
目的	市民が安心安全に通行できるようにする。

3. 主な活動及び事業費

主な活動	道路改良及び修繕工事等を行う。		
事業費	R 8	R 9	R 10
	210000 千円	515000 千円	510000 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	適切	適切
評価結果			
道路施設の点検及び改良工事等を行うことで、市民の安全・安心を確保し市民生活における利便性及び安全性の向上が見込まれることから実施箇所の優先順位を見極めながら引き続き計画的に実施されたい。			

1. 事業の概要等

事務事業名	橋りょう改修・補強事業		
政策	人と自然が共存し安心して暮らせるまち/生活基盤が充実したまちづくり	担当課	建設課
施策①	安全で快適な生活環境の整備	電話番号	22-2111
施策②	道路の整備・道路施設の維持管理	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	防災まちづくりの推進	新規・継続	継続
5つの柱	防災対策の充実	補助・単独	単独
事業期間	令和4年度～令和9年度		
事業の概要			
市民の安全な交通の確保及び災害時のネットワーク機能の維持を目的に、橋梁の長寿命化及び耐震性の向上を図るもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
市道の安全な通行の確保及び災害時の交通ネットワーク機能の維持を目的に、橋梁の長寿命化及び耐震性の向上を図った。
目的
橋梁長寿命化修繕計画に基づき予防保全型の修繕を計画的に行うとともに、幹線道路における橋梁の耐震化を進め、市道の安全な通行の確保及び災害時の交通ネットワーク機能の維持を図る。

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
橋梁の修繕工事及び耐震補強工事を行う。		
事業費		
R 8	R 9	R 10
165000 千円	402000 千円	369000 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	適切	適切
評価結果			
市内の橋りょう改修を行うことは、市民が安心・安全に暮らすための交通の確保に直結することから、引き続き実施箇所の優先順位を見極め、計画的に実施されたい。			

令和7年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和8年度～令和10年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	未登記道路用地等整備事業		
政策	人と自然が共存し安心して暮らせるまち/生活基盤が充実したまちづくり	担当課	建設課
施策①	安全で快適な生活環境の整備	電話番号	0193-27-8430
施策②	安全・安心な道路環境の整備	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト	防災まちづくりの推進	新規・継続	継続
5つの柱		補助・単独	補助
事業期間	昭和27年度～令和10年度		
事業の概要			
市道内の所有権未整理の用地を対象に、現地調査・測量・地権者交渉・登記を行い課題を解消する複数年度事業である。まず、国土調査の成果や道路台帳等を用いた業務委託を実施し、境界標や支障構造物を特定する。その後、地権者との協議に基づき用地交渉を進め、登記完了まで一連の手続きを行う。事業費は委託費などの登記関連費で構成。これにより市道の適正管理と公共事業の円滑な推進を図るもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
一部市道が未登記（市道内民有地）のまま残り、所有権が曖昧である。 市道や法定外公共物の境界標が紛失し、官民境界の判別が困難となり、財産管理に支障。
目的
市道の適正かつ確実な用地管理を行う。 境界標を確認することで、市道と民有地の境界を明確にし、双方の財産を保全する。

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
国土調査の成果、道路台帳システム・現地調査等による未登記道路の調査。 未登記道路の地権者との交渉、測量、登記手続き。 境界標が失われた箇所の特定と支障構造物の有無。 市HPや広報を通じた市民への周知・啓発。		
事業費		
R 8	R 9	R 10
1500 千円	5100 千円	0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	適切	見直し余地あり
評価結果			
未登記道路の解消により、市道用地の適正な管理と公共財産の保全に繋がることから、円滑な公共事業の実施のため、継続実施されたい。今後、優先順位も更に検討されたい。			

令和7年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和8年度～令和10年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	用地整理事業		
政策	人と自然が共存し安心して暮らせるまち/生活基盤が充実したまちづくり	担当課	建設課
施策①	安全で快適な生活環境の整備	電話番号	0193-22-2111
施策②	安全・安心な道路環境の整備	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	防災まちづくりの推進	新規・継続	継続
5つの柱		補助・単独	単独
事業期間	令和6年度～令和8年度		
事業の概要			
復興事業の完了に伴い市が取得した用地の整理を進め、安全で災害に強い生活環境の整備を目的とするもの。不動産鑑定により適正価格を算定し、地積測量図を基に契約・登記までを実施するとともに、地域住民の安全確保と用地権利の安定化を図るもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
箱崎町第3地割では、市道鶴住居6号線が狭あい道路となり、車両のすれ違いや歩行者の安全確保が困難な状態が続いている。特に救急車や消防車など緊急車両の通行支障や日常的な危険性が住民から強く指摘されている。両石町第3地割では、復興事業区域内に市有地と未登記民有地が複雑に入り組み、住民から権利関係の整理を求める声が寄せられている。唐丹町大曾根では、復興事業で設置した堤防の一部が民地であり、用地交換処理が未了で権限が曖昧となり、住民に不安を与えている。	
目的	
<ul style="list-style-type: none"> ・狭あい道路を解消し、安全で安心できる通行空間を確保する。 ・市有地と民地の交換を行うことで、境界関係を明確にし、権利関係のトラブルを未然に防ぐ。 ・災害に強い街づくりを進め、住民が安心して暮らせる環境を整備する。 	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
<ul style="list-style-type: none"> ・箱崎町：民地を取得し、待避所を整備することで狭あい道路を解消。 ・両石町：市有地と民地を交換し、未登記道路を整理。 ・唐丹町：堤防設置済みの民地と市有地を交換し、権利関係を明確化。 ・不動産鑑定を実施し、適正価格での用地取得を進める。 		
事業費		
R 8	R 9	R 10
1868 千円	0 千円	0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
被災した市民の生活に直結する事業であり、早期の実施により安心・安全な生活環境の充実を図りたい。			

1. 事業の概要等

事務事業名	公園施設長寿命化対策事業（起債含む）		
政策	人と自然が共存し安心して暮らせるまち/生活基盤が充実したまちづくり	担当課	都市計画課
施策①	安全で快適な生活環境の整備	電話番号	0193-22-2111
施策②	公園・緑地等の整備	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト	防災まちづくりの推進	新規・継続	継続
5つの柱		補助・単独	補助
事業期間	平成17年度～令和10年度		
事業の概要			
安全・安心な公園施設を提供し、市民の余暇活動の充実を目的に、釜石市公園施設長寿命化計画（2024～2032）に基づき、老朽化した遊具等の公園施設の更新を実施するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
市内の公園内に設置されている遊具、トイレ等「公園施設」の老朽化が顕著であり、安心して安全な公園としての機能維持が課題となっている。	
目的	
安全で安心して利用できる公園施設を市民に持続的に提供し、遊び場や憩いの場としての活用と健康的な市民生活の向上に資する。	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
公園施設のライフサイクルコスト削減を目的に、「釜石市公園施設長寿命化計画」に基づき、必要な更新整備を進める。		
事業費		
R 8	R 9	R 10
39000 千円	65000 千円	65000 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	適切	適切
評価結果			
公園機能の維持や更新により、子どもが安全で安心に利用できる環境が確保されるため、継続実施されたい。なお、人口減及び少子高齢化社会となっている中、利用頻度等に応じた遊具の設置数等を検討されたい。			

令和7年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和8年度～令和10年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	都市公園等復旧整備事業		
政策	人と自然が共存し安心して暮らせるまち/生活基盤が充実したまちづくり	担当課	都市計画課
施策①	安全で快適な生活環境の整備	電話番号	0193-22-2111
施策②	公園・緑地等の整備	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト	防災まちづくりの推進	新規・継続	継続
5つの柱		補助・単独	補助
事業期間	平成17年度～令和10年度		
事業の概要			
東日本大震災の影響により、被災者の住まいを目的とした仮設住宅や仮設店舗等に供された公園の機能復旧を進め、早期の利用再開を図るもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
東日本大震災後、市内の都市公園や広場の一部は、応急仮設住宅や仮設店舗、土砂の仮置き場として使用されたため、子供たちの遊び場や憩いの場としての利用が出来ず不便を来している。	
目的	
以下対象施設の復旧整備を行い、公園としての機能回帰を進め、子供たちの遊び場や地域住民の憩いの場を早急に確保する。 ・鈴子広場（済）、大只越公園（済）、野田中央公園、野田西公園、向定内公園、水海公園、平田公園、大天場公園（済）	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民のみならず、子育て世代や子供たちの意見を復旧整備の設計に反映させながら、利用しやすい公園、広場の形成に努める。 ・早期の利用再開を図るため、遊具等の整備は最低限としながらも拠点性を鑑みて地域性に見合った復旧整備を行い、維持管理のコストの低減につなげる。 		
事業費		
R 8	R 9	R 10
70000 千円	30000 千円	0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
震災の影響により利用制限をしていた公園の復旧を行うことで地元住民や子どもたちの憩いの場としての回帰、地域活力再生につながることを期待されることから、近隣公園の設置場所を考慮し、地域との連携を密にしながら実施されたい。			

1. 事業の概要等

事務事業名	水道未普及地域対策事業		
政策	人と自然が共存し安心して暮らせるまち/生活基盤が充実したまちづくり	担当課	生活環境課
施策①	安全で快適な生活環境の整備	電話番号	0193-27-8453
施策②	住宅・住環境の整備充実	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト		新規・継続	継続
5つの柱		補助・単独	単独
事業期間	令和元年度～令和10年度		
事業の概要			
水道事業の給水区域外の地域において、住民が安全な飲用水を確保することを目的に、水道未普及地域に居住している住民が飲用井戸等の整備を行う場合に要する経費を補助するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
水道事業の給水区域以外の区域では、沢水等を利用しており安全な飲用水を確保することが困難な状況である。	
目的	
飲用水確保困窮者が飲用井戸等の整備を行うことにより、安全な飲用水の安定的な確保と公衆衛生および生活環境の向上を図る。 また、大雨災害などの対応策とする。	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
飲用水確保困窮者が飲用井戸等の整備を行う場合に要する経費（井戸掘削工事費用等の8/10相当額）に対し、予算の範囲内（1世帯80万円を限度）で補助金を給付する。		
事業費		
R 8	R 9	R 10
1600 千円	0 千円	0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	見直し余地あり
評価結果			
ニーズ調査のうえ、制度の見直しを図りながら実施されたい。			

1. 事業の概要等

事務事業名	市営住宅地域応援活用事業		
政策	人と自然が共存し安心して暮らせるまち/生活基盤が充実したまちづくり	担当課	都市計画課
施策①	安全で快適な生活環境の整備	電話番号	22-2111
施策②	住宅・住環境の整備充実	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト		新規・継続	継続
5つの柱	子育て支援	補助・単独	補助
事業期間	昭和32年度～令和10年度		
事業の概要			
漁業集落部に立地する戸建復興住宅の有効活用を推進するため、市外からの移住定住希望者に対し、低廉な家賃で賃貸させることにより、当市への移住定住を推進しようとするもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
<p>漁業集落部に立地する戸建復興住宅は、入居者の高齢化等により空室となる住宅が相次ぎ、入居者募集を行っても応募者がいない状態が続いている。</p> <p>一方、移住定住希望者から戸建復興住宅への入居希望が挙がっても、従来の公営住宅法、釜石市営住宅条例に規定する入居要件を満たすことができず、やむなく入居を諦めるケースが発生している。</p>	
目的	
当市への移住定住を希望する人が一人でも多く当市へ移住定住できるようにする。	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
空室となっている戸建復興住宅の目的外使用		
事業費		
R 8	R 9	R 10
600 千円	600 千円	600 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	適切	適切
評価結果			
移住定住施策としても有効に活用できる可能性があることから、財産処分等国への手続きに留意のうえ実施されたい。			

令和7年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和8年度～令和10年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	がけ地近接等危険住宅移転事業補助金		
政策	人と自然が共存し安心して暮らせるまち/生活基盤が充実したまちづくり	担当課	都市計画課
施策①	安全で快適な生活環境の整備	電話番号	0193-22-2111
施策②	住宅・住環境の整備充実	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト		新規・継続	新規
5つの柱		補助・単独	単独
事業期間	令和7年度～令和9年度		
事業の概要			
土砂災害により人命に危険を及ぼすおそれのある地域の住宅居住者に対し、移転費用や除却費用の一部を補助するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
<ul style="list-style-type: none"> 釜石市には、大雨や地震によってがけ崩れの恐れのある箇所が多数あり、近年の大雨災害や今後、発生が予想される日本海溝型地震が発生した場合、著しい土砂災害が発生する恐れがあり、危険地域に居住する市民に不安が生じている。 	
目的	
<ul style="list-style-type: none"> がけ地の崩壊等の恐れのある市民に対し、安全な住宅環境を提供する。 	

3. 主な活動及び事業費

主な活動			
土砂災害により生命に危険を及ぼす恐れのある地域にある危険住宅の居住者に対し、移転費用や除却費用の一部を補助する。 補助率 100% 上限 8,385 千円			
事業費			
R 8	R 9	R 10	
0 千円	8385 千円	8385 千円	

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
災害危険区域内の住宅移転にかかる各種相談に随時対応し、土砂災害などの被害の恐れがある市民の被害を未然に防ぎ、市民が安心・安全に生活できる環境を確保することにつながることから継続実施されたい。			

令和7年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和8年度～令和10年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	木造住宅耐震支援事業		
政策	人と自然が共存し安心して暮らせるまち/生活基盤が充実したまちづくり	担当課	都市計画課
施策①	安全で快適な生活環境の整備	電話番号	0193-27-8435
施策②	住宅・住環境の整備充実	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト	人口減対策	新規・継続	継続
5つの柱		補助・単独	単独
事業期間	令和8年度～令和10年度		
事業の概要			
住宅の地震に対する安全性の確保及び向上を図り、地震に強い安心安全な住環境が形成されることを目的に、市内に居住する木造住宅の所有者から希望があった場合に、耐震診断の実施及び耐震補強工事に係る費用の一部を補助するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
昭和56年以前に建設された木造住宅は、現在の耐震基準を満たしているか不明の建物が多く、再度、東日本大震災のような震度6クラスの地震が発生した場合、耐震性に不安がある状況である。	
目的	
住宅の地震に対する安全性の確保及び向上を図り、もって震災に強いまちづくりを推進しながら、安全安心な住環境の形成を進める。	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
<ul style="list-style-type: none"> 市内に居住する木造住宅の所有者が耐震診断を希望する場合、その住宅の耐震診断等を行う。 市内に居住する木造住宅の所有者が耐震補強を希望する場合、その住宅の耐震補強工事費の一部を助成する。 		
補助率	耐震診断 100%	上限 36,666円
	耐震改修 4/5	100万円
事業費		
R 8	R 9	R 10
1310千円	1310千円	1310千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	見直し余地あり	適切
評価結果			
耐震診断、補強工事により住宅の耐震基準を満たし、住宅の地震に対する安全性の確保を図ることで、市民の防災意識の向上につながることを期待されるため、継続実施されたい。			

令和7年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和8年度～令和10年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	住宅安全安心リフォーム工事助成事業		
政策	人と自然が共存し安心して暮らせるまち/生活基盤が充実したまちづくり	担当課	都市計画課
施策①	安全で快適な生活環境の整備	電話番号	0193-22-2111
施策②	住宅・住環境の整備充実	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト	防災まちづくりの推進	新規・継続	継続
5つの柱		補助・単独	補助
事業期間	平成22年度～令和10年度		
事業の概要			
段差解消などバリアフリー化を含むリフォーム工事の実施を推進し、市民の居住環境の充実を図ることを目的に、市内に居住する住宅の所有者に対して、リフォーム工事費の一部を補助するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
・昭和の時代等に建築された木造住宅は、段差等バリアフリー化されていないものも多く、高齢者や障がいをもった方にとっては、自立した日常生活の確保において不便な思いをしており、良好な住居環境となっていない。	
目的	
段差解消などバリアフリー化を含むリフォーム工事の実施を推進し、市民の居住環境の充実を図る。	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
・市内に居住する住宅の所有者が、バリアフリー化を含むリフォーム工事を行う場合、その工事費の一部を助成する。 補助率 2/3 上限 20 万円 補助内容 段差解消、手摺の設置、家具の転倒防止器具設置		
事業費		
R 8	R 9	R 10
3000 千円	3000 千円	3000 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
住宅のバリアフリー化を推進することによって、不便なく暮らせる環境整備を支援することで、快適な住まいづくりにつながることや、市民ニーズが高いことから継続実施されたい。			

令和7年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和8年度～令和10年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	釜石市公営住宅等長寿命化事業		
政策	人と自然が共存し安心して暮らせるまち/生活基盤が充実したまちづくり	担当課	都市計画課
施策①	安全で快適な生活環境の整備	電話番号	22-2111
施策②	住宅・住環境の整備充実	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト	人口減対策	新規・継続	継続
5つの柱		補助・単独	補助
事業期間	令和2年度～令和10年度		
事業の概要			
良好な住環境の提供を目的として、釜石市公営住宅等長寿命化計画に基づき、公営住宅の予防保全的な維持管理及び改善工事を実施するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
釜石市の公営住宅のうち 1/3 は昭和時代に建設されたものであり、設備の旧式化、老朽化に加え、居住水準も低いことから入居者は毎日の生活利用において不便を来している状況にある。公営住宅の既存ストックを総合的・持続的に活用し、良好な住居環境を提供する必要がある。 全体戸数 1389 戸 昭和時代の戸数 282 戸 入居率 58.1% (釜ビル、定住除く)	
目的	
公営住宅の既存ストックの効率的かつ円滑な更新を提供するために、予防保全的な維持管理を推進し、公営住宅の長寿命化を図る必要がある。令和4年度以降に改修を計画する洞泉市営住宅は昭和54年から昭和57年にかけて建設されたが、「釜石市公営住宅等長寿命化計画」において、老朽化への対応、居住水準向上のための改善を図ることとしている。	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
入居者に良好な居住環境を提供するとともに、住宅の長寿命化を目的に老朽化した住戸内部を改修する		
事業費		
R 8	R 9	R 10
111839 千円	105272 千円	42584 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	適切	適切
評価結果			
公営住宅の長寿命化により、住居者の生活環境の充実し入居率アップが期待され、より効率的な維持管理が図られることから継続実施されたい。			

令和7年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和8年度～令和10年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	釜石市公営住宅解体事業		
政策	人と自然が共存し安心して暮らせるまち/生活基盤が充実したまちづくり	担当課	都市計画課
施策①	安全で快適な生活環境の整備	電話番号	22-2111
施策②	住宅・住環境の整備充実	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト		新規・継続	継続
5つの柱		補助・単独	補助
事業期間	令和3年度～令和10年度		
事業の概要			
設備の旧式化・老朽化及び耐震性に問題のある公営住宅の解体工事を行うもの。解体工事にあたっては入居者に支障の無いよう事前説明会の開催及び意向調査を実施した。工事を適正かつ円滑に実施するため、工事監理業務を委託するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題			
釜石市の公営住宅のうち 1/3 は昭和時代に建設されたものであり、設備の旧式化、老朽化に加え、居住水準も低いことから入居者は毎日の生活利用において不便を来している状況にある。また、当市の住宅の管理戸数は 1,509 戸と多数であり、老朽化した住宅を解体し住宅を集約する必要がある 全体戸数 1389 戸 昭和時代の戸数 282 戸 入居率 58.1% (釜ビル、定住除く)			
目的			
当該住宅入居者を円滑に他の施設に移転させ、老朽化した当該住宅を解体し、安心安全な居住環境を提供する。			

3. 主な活動及び事業費

主な活動			
<ul style="list-style-type: none"> 老朽化が顕著な住宅の解体工事を行う。 入居者に支障のないよう、事業説明会や意向調査を実施する。 			
事業費			
R 8	R 9	R 10	
0 千円	14099 千円	15624 千円	

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
設備の老朽化及び耐震性に問題がある公営住宅を解体することで、入居者の良好な住環境の確保につながるとともに、計画的な解体を実施することで、維持管理コストの削減が図られることから、継続実施されたい。			

令和7年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和8年度～令和10年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	釜石斎場運営経費（施設及び設備改修工事等）		
政策	人と自然が共存し安心して暮らせるまち/生活基盤が充実したまちづくり	担当課	生活環境課
施策①	斎場・墓園の充実	電話番号	0193-27-8451
施策②	斎場及び墓園施設の整備・充実	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト		新規・継続	継続
5つの柱		補助・単独	単独
事業期間	令和8年度～令和10年度		
事業の概要			
釜石斎場は市民生活に必要な不可欠な施設であることから、稼働を止めることがないよう万全な体制を維持するため、火葬炉の改修工事を実施する。令和8年度から釜石斎場長寿命化整備基本計画に基づき、施設の大規模改修を行うもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
釜石斎場の火葬炉は3炉あり、1日4回の火葬に対応している。火葬場は市民生活に必要な不可欠な施設であることから、稼働を止めることがないよう整備を行う必要がある。	
目的	
火葬を休止させることがないよう、万全の体制を整える。	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
<ul style="list-style-type: none"> 火葬炉改修工事 施設維持のための改修工事 		
事業費		
R 8	R 9	R 10
35948 千円	77540 千円	326028 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
市民生活において必要不可欠な事業であることから、定期的なメンテナンスの実施や長寿命化計画に基づき効率的な施設の修繕を実施されたい。			

令和7年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和8年度～令和10年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	無縁供養塔整備事業		
政策	人と自然が共存し安心して暮らせるまち/生活基盤が充実したまちづくり	担当課	生活環境課
施策①	斎場・墓園の充実	電話番号	27-8451
施策②	斎場及び墓園施設の整備・充実	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト		新規・継続	継続
5つの柱		補助・単独	単独
事業期間	令和8年度～度		
事業の概要			
社会的な孤立死に配慮し、故人の尊厳ある最期を迎えられる環境を整備するとともに、無縁墳墓等の解消の取組を促進することを目的に、市営大平墓園内に無縁供養塔を整備するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
<ul style="list-style-type: none"> ・市営墓地に無縁供養塔が整備されていない ・無縁化が疑われる墓地が増加傾向にある ・無縁墓の発生により、墓地の荒廃や不法投棄の温床になっている。 ・身寄りがなく、遺骨の引き取り手がない焼骨は市内の寺院に納骨いただいている。
目的
<ul style="list-style-type: none"> ・無縁遺骨を合祀する墳墓を整備する。 ・市営墓地及び市内の地域墓地の無縁墓対策を進める。

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
無縁供養塔の整備		
事業費		
R 8	R 9	R 10
10000 千円	0 千円	0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	適切	適切
評価結果			
対象や規模等を関係者と協議しながら、市民のニーズ調査を実施した上で実施されたい。			